

## ●消防費 3億2,653万円

(町民一人あたり 2万1,642円 前年度比▲19.3%)

消防ポンプ自動車購入事業	1,309万円
防火水槽新設事業	1,870万円
非常時通信機能確保事業	78万円
災害に強い地域づくり支援事業	220万円
緊急災害時食料等備蓄事業	15万円

## ●教育費 13億9,809万円

(町民一人あたり 9万2,662円 前年度比+28.4%)

学校生活支援員設置事業	1,887万円
発達障がい理解推進拠点事業	151万円
スクールバス導入事業	8,871万円
統合中学校整備事業	4億1,044万円
放課後子どもプラン推進事業	133万円
学校支援地域本部事業	107万円
小中学生交流事業	65万円
白鷹町史編さん事業	1,082万円
総合型スポーツクラブ支援事業	550万円
(仮称)町民武道館等整備事業	2億4,226万円
調理場施設整備事業	2,024万円

## ●公債費 8億9,432万円

(町民一人あたり 5万9,274円 前年度比▲5.7%)

## ●その他 2億9,575万円

(町民一人あたり 1万9,602円 前年度比+92.2%)

議会費	1億 107万円
労働費	2,704万円
災害復旧費	
(豪雨災害復旧対応等)	1億5,694万円
諸支出金	70万円
予備費	1,000万円

### ◆エネルギー施策

○白鷹町エネルギー計画に基づき、個人住宅の太陽光発電設備の普及推進のため、設置費の一部補助と、深山地区での小水力発電実証実験を継続します。また、県の再生可能エネルギー等導入促進基金を活用し、災害対策も兼ねた健康福祉センターへの太陽光発電と蓄電設備の導入を行います。

### 4. 人づくり

○次代を担う人材を育成する白鷹人育成事業を継続するとともに、地域のリーダーを育成する学習会や研修を実施します。

○荒砥高校では、平成25年度入学生から総合学科に改編、長井工業高校とのキャンパス制が導入されました。引き続き、入学者の確保や地域との交流、介護職員初任者資格取得、学習支援員

の配置などの支援を行い、総合学科の特色をまちづくりの視点からどのように支援できるかを検証します。

○白鷹高等専修学校の情報教育推進の取り組みを支援します。

○地区公民館のコミュニティセンター化に伴い、これまでの生涯学習活動を総括し、今後の生涯学習のあり方を検討します。

○「白鷹学講座」の継続を柱に、子どもたちの社会力の育成や地域の教育力の向上をめざすため、放課後子ども教室や、学校支援地域本部事業をはじめ、小中学生交流事業、成績優秀者奨励金交付事業、幼児共育事業などに引き続き取り組みます。

○総合型地域スポーツクラブの育成をはじめ、各種スポーツ団体の育成や活動を支援するとともに、町誕生60周年を記念しての地区対抗駅伝競走大会や若鮎マラソン大会など、各種スポーツ

大会の開催に取り組みます。

○文化財の保護・伝承活動については、所有者・保存会・地域と連携し計画的に推進するとともに、「白鷹町史・現代編」として町史編さん事業を進めます。

○町芸術文化協会との連携による芸術祭の開催をはじめ、文化交流センターあゆむの事業と調整を図り文化・交流事業を推進します。

○図書館では、蔵書の充実や長時間開館サービスを継続して実施し、図書館サービスの向上に努めます。

○新たな取り組みとして、最上川を核とした「ジオパーク」の可能性について、先進事例の取り組みを参考にしながら検討を進めます。

### 5. 行財政改革の推進

第4次白鷹町行財政改革大綱に基づき、効率的な行財政運営の推進による

行政サービスの確保に努めるとともに、主要施策に対応する組織体制の強化、人材育成基本方針に基づく職員研修等を充実し、直面する課題に対して積極的に対応するための組織づくり、人づくりを進めます。

なお、推進期間の最終年度となる現大綱については、これまでの成果と課題を総括し、地域活力の再生と民間力活用を柱に、信頼される行政をめざして第5次大綱の策定を進めます。そして、震災以降課題となっている庁舎等再編整備計画についても、総合計画の中で具現化に向け整備を進めます。

また、これまでの課題であった町税等納付窓口空白地域の解消をはじめとして、納付利便性の向上、収納率や期限内納付率の向上を図るため、平成27年度からの郵便局収納やコンビニ収納の実施に向け、準備作業を行います。